



収蔵資料展2018
唐桶溜の歴史と風景

鈴木 正一郎《唐桶の詩》 撮影日:1987年1月13日

2018年
2月10日(土) - 3月11日(日)

観覧時間:9:30~17:00

休館日:月曜日(ただし月曜が休日の場合は翌日)
2月28日(水)

観覧料:無料

場所:芳賀町総合情報館 展示室2

主催:芳賀町教育委員会

交通案内:JR宇都宮駅西口3番乗場より祖母井、茂木方面行
「芳賀町役場」下車徒歩1分

自家用車の場合は、北関東自動車真岡I.Cから約30分/
JR宇都宮駅東口から約30分

芳賀町総合情報館

知恵の環館
芳賀町総合情報館

収蔵資料展2018 唐桶溜の歴史と風景

芳賀町総合情報館の収蔵資料の中からテーマを決めて展示を行うのが、収蔵資料展です。3回目となる今回取り上げたのは、唐桶溜です。

唐桶溜と書いて「かるけのため」と呼ばれるこのため池は、芳賀町の東水沼地区の西端にあります。江戸時代、岡田宗山が農業用のため池として開発した場所として、町の小学校の副読本に取り上げられました。また、平成22年には農林水産省の「ため池百選」にも選ばれ、今日、唐桶宗山公園として、四季折々の美しい風景が訪れる人を楽しませてくれます。

本展では、唐桶溜の歴史紹介と共に、芳賀町を始め各地で写真指導を行っていた故鈴木正一郎氏の写真作品《唐桶の詩》の展示を行います。知って観て楽しめる展覧会にお越しください。



撮影日:1991年3月11日



撮影日:1990年2月1日



撮影日:1984年3月14日

風景写真は全て 鈴木正一郎《唐桶の詩》 芳賀町教育委員会蔵



岡田宗山像(岡田家史料)

鈴木正一郎 プロフィール

- 1916年(大正5) 愛知県に生まれる。
 - 1927年(昭和2) 中央气象台(現在の気象庁)に入る。
 - 1935年(昭和10) 雲の写真を書し始める。
定年までの間、伊豆大島、静岡、姫路、松枝、津、宇都宮に勤務。
 - 1976年(昭和51) 気象庁を定年退職する。
全日本写真連盟関東本部委員・日本自然科学写真協会会員
各地区の写真愛好家の指導を行う。
 - 2013年(平成25) 6月 逝去
- ※栃木県高校総合文化祭写真展の最高賞で最も高校生らしい作品に贈られる賞に「鈴木正一郎賞」がある。

お願い:お車でお越しの際は、芳賀町役場駐車場または、役場西側の総合情報館駐車場(倉持整形外科前)をご利用ください。

アクセス

- JR宇都宮駅西口3番乗場より祖母井、茂木方面行「芳賀町役場」下車徒歩1分
- 自家用車…北関東自動車真岡I.Cから約30分/JR宇都宮駅東口から約30分

知恵の環館

芳賀町総合情報館
〒321-3307 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井南1-1-1
TEL:028-677-2525 FAX:028-677-2886
URL:<http://www.town.haga.tochigi.jp>